**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　2　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和　６年　６月　２８日　　１０時３０分　～　１１時３０分 | |
| 会場 | グループホーム　花乃苑　羽ノ浦 | |
| 参加者 | 利用者代表 | １人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 他事業所 | １人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告   a）認知症対応型共同生活介護利用者（R6.2826現在）  男性4名　女性14名　　合計18名  利用者平均年齢　87.7歳（73～96歳）    　《要介護別》　要介護１（１名）要介護２（６名）　要介護３（８名）  　　　　　　　　要介護４（３名）要介護５（０名）  　　b）入・退居者    　　　　4/29　入居　要介護2　女性　在宅より    ２．活動内容（5月～6月）  　　防災訓練、誕生会、ドライブ、園芸  ３．事故報告  　　5/8　要介護3　女性　夜間、居室内にて転倒され骨折  　　6/6　要介護3　女性　夜間、居室内にて転倒され骨折  　　2名とも医療センターでの手術・リハビリ後、施設に戻られる。    ４．防災訓練  　　火災避難訓練と災害時の炊出し訓練を行う  　　当施設は福祉避難所に指定されているため、市と連携し必要物品を整備し、災害時に備える。  ５．その他  　・5月職員研修（内部）“アンガーマネジメント”“ハラスメント”  　・6月職員研修（内部）“災害に係る業務継続計画”  　・6月職員研修（外部）“認知症介護実践者研修” |
| 議題① | 「転倒予防について」  　当施設では4月～6月にかけて3件の転倒事故が発生。すべて夜間に居室内での転倒事故でした。3名とも要介護3の女性で大腿骨骨折による手術・入院となりました。1名はリハビリ病院へ転院され、2名はリハビリ後、花乃苑に戻られました。転倒予防対策として、転倒リスクのある方には歩行器の使用をすすめ、離床センサーマットの活用を行っていきます。ただし、センサーマットの台数には限りがあり、介護機器やICT機器の新規導入も検討しましたが高額であるため、今すぐの導入は難しい状況です。補助金やリース等、色々な導入方法を調べているところです。  （参加者の方からのご意見）  　・最新のICT機器を導入した介護施設は、業務時間の短縮が図れる上に少ない人員で対応できるようになった。業務負担が減る事で若い世代の職員が増えた。  　・アップルウオッチで転倒したことを知らせてもらえる。  　・見守りセンサー付きのベッドは体動を感知すると音で知らせてくれ転倒を未然に防止することができる。また、画像データがあるため転倒した場合でも転倒時の様子を確認することができる。画像はプライバシーの侵害に当らないよう配慮された画像で映る。  　・若い世代やICT機器等の便利さを体験している人は、最新機器の備わっている施設へ就職する傾向にある。 |
|  |
| 課 題 ② | 「マスク着用について」  　世間ではマスクを着用していない人が増えていますが、医療や介護の現場ではマスク着用が推奨されている。夏季のマスク着用は発汗や息苦しさ、熱中症のリスクもあります。  当施設では職員からもマスクはいつまで必要なのかという問い合わせがあり、参加者の方それぞれの職場ではマスク着用についてどのように対応されているのか、伺いました。  （参加者の方からのご意見）  　・職員自身に体調不良がなくても、無症状という可能性もあるためマスクは着用している。やはり、一度クラスターを経験したので感染拡大は防ぎたい。  　・最近、再び感染が増えてきている。弱毒化はしているが、職員が感染すると、出勤できなくなる。  　皆様からご意見を頂き、参考になりました。 |
| その他 | ・次回の運営推進会議開催は8月末の予定 |